

neurove ノイエローヴ vol.5

資料

INFORMATION

▼ 当社壁紙を施工される場合には、以下の点にご注意ください。

壁紙施工上のご注意

1. 施工の前に

施工前に施工部位と製品の品番・ロット・数量を確認してください。
同一面でジョイントする際は、色差を避ける為、同一ロット製品を糊付けした順に貼り合わせてください。

2. 副資材について

副資材(パテ・シーラー・施工糊等)は、必ず壁紙専用のものを使用し、用途・用法は各副資材メーカーの指示に従ってください。

専用品以外のものを使用すると、目隙やフクレを発生させることがあります。

3. 下地処理について

施工後の不陸を防ぐ為、下地は平滑に仕上げてください。
またネジ・クギ類は施工後の変色を避ける為、突起を完全に沈めてサビ止めをしてください。
下地にインクや墨等の記入がある場合や、窓枠などの塗料が付着しているときは、取り除いてから施工してください。

ペンキ、コンクリート、モルタル、ベニヤ・合板下地、金属下地等、アクやサビの発生しやすい下地は、それぞれ専用のシーラー、防錆剤で下地処理をしてください。
シーラー処理は接着不良や壁紙の変色を防ぎます。

施工後に下地の色が透けて見えることを防ぐ為、パテは下地と同色のものを使用してください。
パテ、シーラーを施した場所は十分に乾燥してから施工を始めてください。
未乾燥の状態での施工は壁紙の変色やカビの発生を招くことがあります。
パテ部分にサンドペーパーをかけた後は必ず布やスポンジ等で粉を拭き取ってください。
粉が下地に残っていると、接着力が落ちる原因となります。

リフォーム貼り替え時について

貼り替え時は、下地に壁紙の裏紙が残っている場合は完全にはがしてから施工してください。

4. 糊付けについて

施工糊は壁紙施工用でん粉系接着剤をご使用ください。建築基準法の規制対象外となる「F☆☆☆☆」表示のあるものを使用してください。

本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。

希釈タイプの施工糊は糊メーカーの指示に従ってください。

塗布量は140～160g/m²を目安とし、均一に塗布してください。

糊付け機の回転スピードを遅く設定して、糊付けをしっかりと行ってください。

温度・湿度・壁紙の性質に合わせて塗布量を調整してください。塗布量や希釈率が不適切であった場合、アイハギや接着不良、目隙の原因となります。

※光沢差や変色の可能性がある為、壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。

冬場などの気温が低い場所では、糊の接着強度が著しく低下して、ジョイントの目開きや、折りジワが残る場合があります。施工場所の室内温度をストーブ等で上げてから行ってください。

糊付け後の注意点

糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、重ね置きをしないでください。

壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部を強く押さえないようにしてください。折りジワになることがあります。

オープンタイムについて

オープンタイムは製品ごとに異なります。

また季節や室内環境により目安時間が変わりますのでご注意ください。

オープンタイムの目安：5～15分

オープンタイムが短い場合は、後伸びが発生してシワの原因になります。又、オープンタイムが長すぎる場合は、アイハギの原因になります。

適切なオープンタイムを取って壁紙が柔らかくなってから施工してください。

クロスが柔らかくなるまでに、アイハギが発生する場合は、乾燥調整剤を糊18kgに対して1kgを添加してください。

5.貼り付けについて

道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。

貼り付け後、接着面に空気や余分な糊が残らないよう丁寧に密着させてください。

撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。

6.糊付着の注意点

壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。糊の付着を放置すると光沢が変わって見えたり、後日変色してくることがあります。

表面に付着した糊は、清水で絞った布で軽く叩くように拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。

その際柔らかい布を使用し、強くこすらないでください。表面が傷付き、色や光沢が変わることがあります。

施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。

濃色壁紙の注意点

濃色壁紙に付いた糊や汚れを拭き取る際は丁寧に行ってください。壁紙の窪みなどに拭き残しがあると、しばらくして白く目立つことがあります。

7.ジョイントについて

壁紙は天地方向を合わせ、有効幅（製品表示幅）の端部同士でジョイントしてください。

端部同士以外でジョイントすると、色差やツヤ差が生じることがありますのでご注意ください。

石膏ボード下地で重ね切りを行う場合は、石膏ボードの原紙まで切り込まないようにしてください。

目隙やボード割れの原因となります。

下地を切らないように下敷きテープを入れてカットすることをおすすめします。（ネイビー13下敷きテープ（㈱ニッター製）など）

カッターについて

カッターは薄刃のものをおすすめします。

カッターの刃は寝かせて切るようにし、壁紙の切り口がささくれないよう、小まめに刃を替えてください。

8.有効幅について

壁紙は有効幅でご使用ください。有効幅を超えた使用は、色違いの原因となります。

ジョイント位置は端部同士で施工してください。両端部と中央部では色差が生じることがあります。

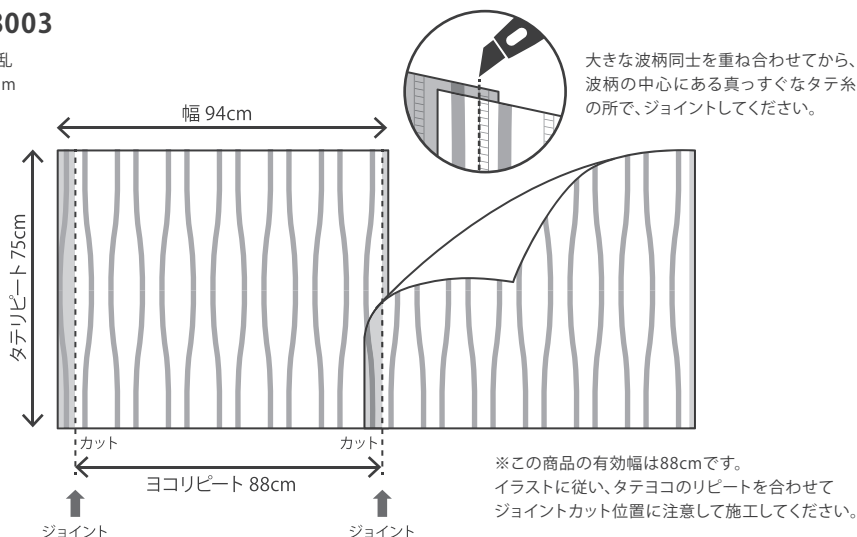
また端部同士でも若干色差が生じる製品があります。

9.柄合わせについて

下記品番は柄合わせが必要です。割付けイメージを確認の上、注意して施工してください。

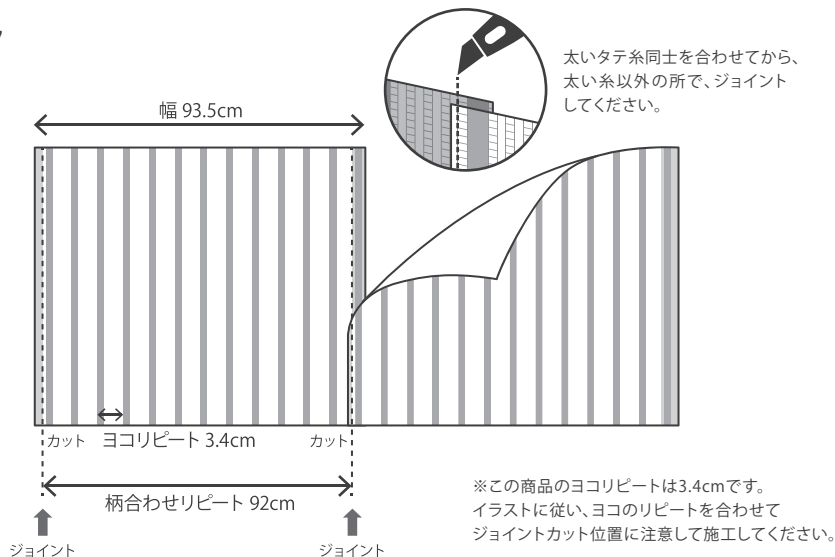
波音 NR-8001~8003

規格 : 有効幅88cm×50m乱
リピート : タテ75cm ヨコ88cm
材料区分 : 繊維系壁紙



藤 NR-8501~8507

規格 : 有効幅92cm×50m乱
リピート : タテ - ヨコ3.4cm
材料区分 : 繊維系壁紙



10.施工後について

施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。施工後の臭いが残った場合は、臭いを軽減する為に、十分に換気を行ってください。

11.三巾程度の施工で状態確認

製品検査には十分注意していますが、三巾ほどを施工後、製品に色差・ツヤ差など問題のないことを確認した上で作業を進めてください。

製品に欠陥が見られた場合は、施工を中断し、購入先までご連絡をお願いします。

三巾以降の施工代等の賠償につきましては、原則としてお受けいたしかねますのでご了承ください。

維持管理上のご注意

メンテナンス

1.入居後の換気

入居後、室内に施工時の臭いが残っている場合がありますので、一週間程度は換気を十分に行ってください。

2.直射日光、暖房器具からの保護

直射日光や熱風が長時間当たる場所では、変退色する恐れがあります。カーテンやブラインド等での日除けを心掛けてください。

またストーブ等の暖房器具の熱風が、直接壁紙に当たらないようにしてください。変形変色、目隙やはがれの原因になります。

3.粘着テープを貼らない

粘着テープ(セロハンテープ、ガムテープ、マスキングテープ等)を壁紙に付着させないでください。

テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また粘着テープをはがす時に壁紙を破損することがあります。

4.汚れが付着したら

飲料水や調味料等の水性汚れが付いたら、すぐに清水で絞った布で軽く叩くように拭き取ってください。

※壁紙の汚れには多種多様なものがあります。

重要なことは汚染物質を付着させないことと、付着したら直ちに拭き取ることです。※1

手垢等について

汚れが染み込まないうちに処理する事が大切です。

軽い汚れは消しゴムや食パンの柔らかい部分で丁寧に軽く擦り落としてください。

それでも汚れが残る場合は、柔らかい布を水、又はぬるま湯で薄めた中性洗剤に浸し、固く絞った上で、軽く叩くようにして拭き取ってください。※1

※1

- ・ 中性洗剤以外の洗剤やシンナー等の有機溶剤は、変色や表面破壊の原因となりますので、使用しないでください。
- ・ また、表面に洗剤等が残ると変色しやすくなりますので、仕上げは清水で少し湿らせた布を使い、丁寧に軽く拭き取ってください。
- ・ 布等でこしこし擦ると壁紙が破損する場合があります。無理に落とさず、丁寧に軽く叩くようにして汚れを軽減させてください。

ほこりについて

定期的に掃除機で取り除くようにすると、きれいに保つことができます。

長時間にわたって付着したほこりは、湿気を吸って頑固な汚れとなり、落ちにくくなります。

5.湿気を避ける

カビ発生の原因となる結露の発生及び湿気を防ぐ為、室内の換気や湿度調整を心掛けてください。

6.壁紙がはがれてきたら

施工後、経時変化(結露や乾燥など)により、部分的にはがれが生じる場合があります。

早めに壁紙用接着剤(又は工作用のでん粉糊に木工用ボンド(1~2割)をまぜたもの)を壁紙裏面に塗り、少し待って塗布面が柔らかくなってから、表面に糊がつかないように圧着して補修してください。

7.タバコの煙、厨房の油煙について

タバコの煙や厨房からの油煙は、壁紙を短時間で黄変させ頑固な汚れとなります。強制換気を心掛けてください。

8.油性マーカーを付着させない

油性マーカー、クレヨン、ボールペンなどの汚れは落とすことができません。

9.薬品や化粧品類を付着させない

殺虫剤・塗料スプレー・化粧品等を壁紙に付着させないでください。壁紙が変色することがあります。

10.家具と壁紙との空間を保つ

家具を壁紙に密着させると、家具の塗料に含まれる色素などにより、壁紙が変色することがあります。

11.傷を付けない

壁紙表面の破損は、補修が困難です。日常生活において、家具や硬くて鋭利なものを当てないように注意してください。

12.ジョイント部分の注意について

糸のほつれが生じないように、物を当てたり擦らないように心掛けてください。

取扱上のご注意

■荷扱い・保管上のご注意

製品が届いたら

製品受領時に欠損などの有無を確認してください。また、ご注文いただいた製品と現物が一致していることを確認してください。

万一欠損がある、またはご注文品と現物が異なっていた場合は、購入先にご連絡ください。

荷扱いについて

ロール状に巻かれた壁紙は数量次第で重量物として取り扱う必要があります。身体に過度な負担をかけるような無理な運搬はしないでください。また、危険ですので製品をトラックの荷台など高所から落下させないでください。ケガや製品の破損を引き起こします。

保管について

製品はヨコ積み・井桁積みせず、タテ置きにして圧迫など強い負荷をかけないでください。

濡れや置き跡などが残る場合があります。

製品は火気・高温・水・湿気・直射日光などを避けてください。

■ 選択上のご注意

防火性能と施工について

建築基準法には防火上の内装制限に関する規定があり、対象建築物について内装材料に要求される防火性能の基準が定められています。

壁紙の防火性能は、壁紙・下地基材・施工方法の組み合わせによって認定されたものです。

防火性能が必要な場合は、使用する壁紙の防火性能（認定番号）と条件、施工部位における下地基材や施工方法を事前に確認してください。

また防火仕上げとする場合、下地へのシーラー処理が標準施工となりますのでご注意ください。

使用環境について

壁紙の施工部位における環境条件などを予めご確認ください。

高温・多湿・寒冷な環境下などでの使用は避けてください。

施工費について

施工難易度の高い製品については、施工費が割高になる場合があります。

ご留意の上で製品を選択してください。

見本帳と現物の色差について

ロット違いにより、見本帳の製品サンプルと実際の製品の色・柄・風合いなどが異なって見える場合があります。予めご了承ください。

ジョイント部分について

下記の仕上がりになることを、予めご了承ください。

- ・ジョイント部分では、若干色差が生じる場合があります。
- ・織物壁紙は製造上、織り柄の揺らぎや目曲がりによってジョイント部分が目立つ場合があります。
- ・施工時のカット位置によって、ジョイント部分の糸の重なりが目立つ場合があります。
- ・照明や窓からの光の変化により、見る角度によってはジョイント部分で色が違って見える場合があります。

製品の改良・価格について

製品の品質改良その他経済事情の変動などにより、予告なく仕様や価格を変更する場合があります。

予めご了承ください。

見本帳の写真について

印刷の都合上、見本帳掲載のイメージ写真と実際の製品が異なって見える場合があります。

予めご了承ください。

■ 壁紙廃棄上のご注意

残材を焼却しない

壁紙の残材や見本帳を燃やすと、刺激性のガスなどが発生する場合がありますので、焼却しないでください。

産業廃棄物として処理する場合

壁紙の残材や不要になった見本帳の処分については、自治体の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。

一般廃棄物として処理する場合

少量の残材を一般廃棄物として処分する場合は、市町村条例に従ってください。

なお、業者の方が工事に伴って排出したものは、産業廃棄物として処理する必要があります。

製造元

旭興株式会社

KYOKKO

大阪本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-1-30 TEL 06-6453-5705
梅田スカイビルタワーウエスト 16F FAX 06-6453-5945

東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 1-1-5 TEL 03-5822-5191
ヒューリック東日本橋ビル 8F FAX 03-5822-5197

営業所／札幌・北関東・横浜

販売元

西武株式会社

NISHIBU

大阪本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中 1-1-30 TEL 06-6453-5725
梅田スカイビルタワーウエスト 16F FAX 06-6453-5740

東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋 1-1-5 TEL 03-5822-5195
ヒューリック東日本橋ビル 8F FAX 03-5822-5197

営業所／仙台・北関東・静岡・名古屋・岡山・広島・高松・松山・福岡・北九州・大分・鹿児島